



審査委員 右図より三田村審査委員長
以下五十音順



東京藝術大学名誉教授 / 日展理事 / 江戸縁絵 10 代継承
三田村有純

第4回 日本 和 文化 グランプリ



日本文学研究者 / 早稲田大学特命教授
早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)顧問
東京大学名誉教授
ロバート キャンベル



モデル
秋元 梢



東京藝術大学名誉教授 美術評論家
秋元 雄史



上杉子爵家九代目当主
上杉 孝久



公益財団法人横浜芸術文化振興財団 横浜美術館 渉外担当リーダー
襟川 文恵



船家小枝方大倉流十六世家
大倉 源次郎



乳の内ブランドフォーム代表
片平 秀貴



東京彫形文化財「木工芸」保持者
公益社団法人日本工芸会理事、参与、木工工部会長
木工造学林浦会主宰
須田 賢司



株式会社 ハースト・デジタル・ジャパン
ハーストメイド マネージャー
富川 匡子



芝浦工業大学 名誉教授 / 建築家・堀越英嗣 ARCHITECT 5 代表
堀越 英嗣



元文化庁長官 / 一般社団法人 TAKUMI-Art du Japon 代表理事
近藤 誠一

法人役員 代表理事近藤、
副代表理事重松、吉田
以下五十音順



株式会社ユナイテッドアローズ 名誉会長
公益財団法人日本服飾文化振興財団 理事長
重松 理



株式会社伊藤忠 取締役社長(十四代目当主)
吉田 誠男



伝統工芸ブランド HIRUME プロデューサー
ファッションコーディネーター
生駒 芳子



株式会社羽田美栄総合研究所 代表取締役社長
日本製陶ビルディング株式会社 株式会社 取締役副社長
大西 洋



一般社団法人フランニング 7 代表理事
橋本 浩二



公益財団法人 文字・活字文化推進機構専務理事
町田 智子

和文化が創る未来の伝統

伝統的美意識とテクノロジーの融合を求めて

募集 テーマ

『伝統と未来』

募集対象ジャンル

衣 / 住 / 建築 / インテリア / アート作品 / 美術工芸 / 服飾 / 和小物 / 染織 / テキスタイル / 和紙 / 金工 / 漆 / 陶磁 / 木工 / 竹・藤 / 硝子 / 皮革 / その他 / 等に該当するプロダクト
※その他上記の作家や和文化振興の企画・支援・プロデュース活動

応募期間

令和6年1月23日(火)～令和6年5月31日(金)

主催：一般社団法人日本和 문화振興プロジェクト Japan cultural promotion project 公式 URL: <http://jcpc.jp/>



第3回 日本和^紅文化グランプリ 受賞作品



グランプリ【受賞作品】KAKI 素材：竹（大分県産）、真鍮

中村 圭



準グランプリ【受賞作品】Cirrus Cloud
素材：漆、和紙、金粉

田泉 夏実



優秀賞【受賞作品】白井晟一書「帰依」表具
素材：南米産泥染布、銀欄（作品周りの筋）
美濃紙、美洒紙、宇陀紙 金物軸先

岸野 田



優秀賞【受賞作品】KASHIKI
素材：国産ひのき材

百瀬 聡文



優秀賞【受賞作品】糸掛けランプ「澄み凧」 高橋完治・暁-Akatsuki-
本体部素材：アクリル樹脂、シルク糸



優秀賞【受賞作品】纏い
素材：磁器土、下絵具、釉薬、上絵具

安川 万里子



学生賞【受賞作品】楯円蒔絵箱「人魚の嘆き」
素材：松、麻布、漆、金、和光銀、プラチナ

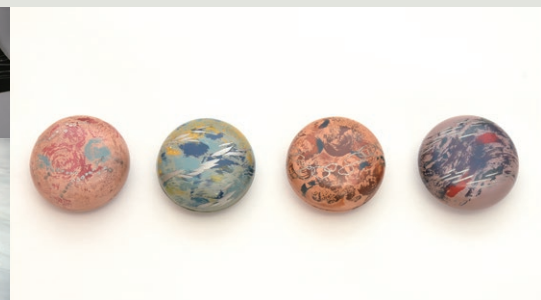
李 逸琰



学生賞【受賞作品】「内側の世界一昼」銀銅象嵌筒 方笑略
材質：銀、四分一、赤銅、銅



奨励賞【受賞作品】いろはにほへと 知麻
素材：画仙紙、墨（墨象作品）絹100%（絵繪博多 八寸名古屋帯）
PVC、シルク、合成ゴム、ナイロン・レーヨン（草履）



奨励賞【受賞作品】てのひらの四季
素材：朴、漆、顔料、銀

荻原 水那

日本和文化振興プロジェクトについて

各分野の企業、協会、自治体が協業し、持続可能な日本の和文化発展の仕組みを構築・確立するために2020年5月に設立した 一般社団法人 日本和文化振興プロジェクト(所在地:東京都中央区、代表理事:近藤誠一)は、元文化庁長官が陣頭指揮をとり、副代表にユナイテッドアローズ名誉会長 重松 理と、400年の歴史を誇る伊場仙14代目当主 吉田誠男が脇を固めます。又当団体の理事は無報酬と定め、団体の運営は個人・企業の会員費、協賛金、グランプリの応募費用で賄われます。余剰金が出た場合は作家やメーカーの支援に運用される仕組みで長期継続を目指します。当プロジェクトが開催する「日本和文化グランプリ」は和文化に携わる企業・団体・個人を対象に、日本が誇る優れた作品を顕彰するイベントとして、単なる表彰で終わるのではなく、受賞者に対して需要が拡がるためのフォローに具体的にコミットし、和文化の担い手の持続的な活動を継続してサポートいたします。



2023年度受賞作品
<https://jcpp.jp/2023award/>